

平成28年白川町議会第1回定例会会議録（第4日）

1. 応招年月日 平成28年3月18日（金）午後3時00分 白川町役場 議場

2. 本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名者の指名

日程第2 議第1号 平成28年度白川町一般会計予算

議第2号 平成28年度白川町国民健康保険特別会計予算

議第3号 平成28年度白川町簡易水道特別会計予算

議第4号 平成28年度白川町地域振興券交付事業特別会計
予算

議第5号 平成28年度白川町介護保険特別会計予算

議第6号 平成28年度白川町後期高齢者医療特別会計予算

日程第3 同第1号 監査委員の選任につき同意を求めることについて

日程第4 発議第1号 TPPと地方創生への万全な国内対策を求める意
見書について

日程第5 発議第2号 監査請求に関する決議について

日程第6 閉会中における議会運営委員会の継続調査について

3. 出席議員 1番 加藤邦之君、 2番 藤井宏之君、 3番 服部圭子君、
4番 今井昌平君、 5番 渡邊昌俊君、 6番 鈴木正次郎君、
7番 細江茂樹君、 8番 安江孝弘君、 9番 嶋田有康君

4. 欠席議員 なし（全員出席）

5. 説明のために出席した者の職氏名

町長	横家敏昭君、	副町長	佐藤滋君、
教育長	瀬瀬政昭君、	総務課長	今井智也君、
企画課長	佐伯正貴君、	町民課長	安江寿一君、
保健福祉課長	高木昇君、	農林課長	伊佐治優君、
建設環境課長	今井俊君、	教育課長	嶋崎恒典君、
会計管理者	安江文郎君		

6. 職務のために出席した者

事務局長	杉山哉史君、	書記	今井寧菜君
書記	今井由美君		

7. 会議の経過

（議長 9番 嶋田有康君）

○ 議長 皆さん、こんにちは。昨日の気象庁の桜の予報を見ておきますと、岐阜県は満開になるのが、今月の終わりから4月の始めということで、今晚から明

日にかけて雨が降るようなことを言っておりますが、一雨ごとに桜の蕾も膨らんでくると、そういった季節となりました。

簡単ですが、冒頭のあいさつにかえまして、ただ今から会議をはじめてまいります。

なお、本日の会議中、広報担当職員による写真撮影を許可しておりますので、ご承知おきください。

○ 議 長 ただいまの出席議員は全員であります。よって会議は成立しました。

○ 議 長 ただいまから本日の会議を開きます。

◇日程第1 会議録署名者の指名

○ 議 長 日程第1「会議録署名者の指名」を行います。

○ 議 長 会議録署名者は、白川町議会会議規則第119条の規定により、議長において、3番 服部圭子君、4番 今井昌平君を指名いたします。

◇日程第2 議第1号 平成28年度白川町一般会計予算

議第2号 平成28年度白川町国民健康保険特別会計予算

議第3号 平成28年度白川町簡易水道特別会計予算

議第4号 平成28年度白川町地域振興券交付事業特別会計予算

議第5号 平成28年度白川町介護保険特別会計予算

議第6号 平成28年度白川町後期高齢者医療特別会計予算

○ 議 長 日程第2 議第1号「平成28年度白川町一般会計予算」、議第2号「平成28年度白川町国民健康保険特別会計予算」、議第3号「平成28年度白川町簡易水道特別会計予算」、議第4号「平成28年度白川町地域振興券交付事業特別会計予算」、議第5号「平成28年度白川町介護保険特別会計予算」、議第6号「平成28年度白川町後期高齢者医療特別会計予算」、以上6件については、去る3月11日の本会議において、予算審査特別委員会にその審査を付託しておりますので、委員会の審査結果について、委員長の報告を求めます。

予算審査特別委員会委員長 服部圭子君。

(予算審査特別委員会委員長 服部圭子君 登壇)

○ 予算審査特別委員会委員長 白川町議会予算審査特別委員会議案審査報告をさせていただきます。

予算審査特別委員会に付託された、平成28年度白川町一般会計予算、平成28年度白川町国民健康保険特別会計予算、平成28年度白川町簡易水道特別会計予算、平成28年度白川町地域振興券交付事業特別会計予算、平成28年度白川町介護保険特別会計予算及び平成28年度白川町後期高齢者医療特別会計予算について、審査の結果を報告します。

本委員会は、3月14日から15日の2日間にわたり、執行部から詳細な説明を受け、活発かつ慎重な審議を行った結果、出席委員全員の賛成をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

本町の当初予算は、一般会計59億6千万円で前年対比0.3%減、5つの特別会計合計で31億4,840万円で10.2%減、総額では91億840万円となり3.9%の減となっています。

一昨年5月の増田レポートが発表されて以来、全国の自治体が地方創生の合言葉のもと人口減対策に取り組む中、本町でも昨年からの移住定住・交流事業や子育て支援などを進めるとともに、今年1月には「白川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、地方創生の目標や施策など基本的な計画がまとまりました。第5次総合計画の後期計画と合わせて、いよいよ新年度からの地方創生に向けた取組が進められることに期待をするものであります。中でも、昨年4月に設立された移住・交流サポートセンターにより、移住者の受入れや空き家の活用が進みつつあり、結婚対策や子育て支援と合わせて、少しでも人口減少を食い止めていきたいものです。また、町の基幹産業である農林業や木材産業をとりまく環境が依然として厳しい中、国や県の制度を最大限活用し、その振興が図られようとしています。道路や簡易水道など生活基盤については、施設の老朽化が進んでおり、その維持、管理、更新には多額の費用を要するところですが、総合的かつ計画的にその対策を進められており、引き続き効果的な事業の推進を望むものであります。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で計画された事業の多くは、町民の参画がなくては進められません。ややもすると行政まかせになりがちの中で、今こそ我々町民一人一人が関心を持ってまちづくりに取り組む時だと思われまます。審議の中で出されました意見や提案について検討するとともに、町民の参画を促し、対話と協働の場を持ちながら、様々な事業を効果的かつ効率的に推進されるようお願いいたします。詳細につきましては、議長に提出しました報告書によりご承知願うこととし、次の審査意見を付して審査報告といたします。

審 査 意 見

1. 地方創生事業をはじめ様々な事業を展開する中で、あらゆる報道機関、SNS等を活用し、町内外に向けた情報発信と事業のPRに努め、事業の効果を高められたい。

2. 交通弱者の増加や濃飛バスの動向が課題となる中、地域公共交通会議における公共交通システムの構築は大変重要であります。地域の現状や要望を十分に調査され、早急に対策を講じられたい。

3. 有害鳥獣被害対策は全町的な大きな課題である。防護柵の補助金確保や、猟銃免許の取得推進などあらゆる手段を用いて、より一層積極的に対応されたい。

4. 農家カフェについては、商品開発と販売促進に合わせてカフェ機能を伴う店舗拡大事業であるものと理解する。事業の実施に当たっては、事業者の意向を十分確認し、事業の詳細な計画等を議会に提示することを条件とするとともに、事業効果を十分見極めた上で実施されたい。

5. 生ゴミ処理機の購入助成を地域振興券で行われることを評価し、その他の補助金や謝金等についても、地域振興券を利用できるものは積極的に利用するなど、町内での消費拡大に努められたい。

6. 合併60周年を迎えるにあたり様々な行事等が計画されているが、町民の参画を進め、総合戦略推進の一助となる意義ある合併60周年となるよう、最善を尽くされたい。

以上を申し述べまして、予算審査特別委員会の議案審査報告とさせていただきます。

○ 議長 委員長に対する質疑は省略し、討論を行います。
まず、本案に対して反対の討論を許します。
(「なし」の声あり)

○ 議長 次に、本案に賛成の討論を許します。
4番 今井昌平君。
(4番 今井昌平君 登壇)

○ 4番 平成28年度の一般会計予算及び特別会計予算について、賛成の立場で討論します。

国政においては、昨年安倍政権が圧倒的多数の議席を背景に積極的な経済政策が打ち出され、一時は景気が上向きになってきたと思いましたが、今年の新年早々から円高、株価の暴落等、景気の行く先も怪しくなっております。そんななか白川町の平成28年度予算が審査特別委員会で2日間にわたって、一般会計59億6千万円、特別会計31億4千840万円、合計91億840万円(前年比3.9%)が審査されました。横家町長3年目の予算編成であり、国の地方創生政策を受け、その基本的方向性を定めるため、「白川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定され、将来の大幅な人口減少を想定しそれぞれの施策について、業績評価委員会を設け、毎年点検を行い慎重に進めることとされていることについては、高く評価するものです。少しでも人口減をくいとめるための移住交流サポートセンターを設置し、空き家バンクの運営と合わせ移住者の支援を行う

ことにも予算が計上してあり、また本町の基幹産業としての「お茶の販路拡大策」での海外への販売事業、少子化を少しでもくい止めるための子育て支援等限られた財源を適確に措置され、防災対策、福祉の充実などにも配慮がなされ、均衡のとれた予算編成になっていると思います。

一方、町民の安全・安心な水を確保するための簡易水道事業については、建設から相当期間が経過し、早期に改修が急がれ多大な経費が必要な事業にも予算が配分されています。また荒廃や後継者不足で深刻化している農林業についても、これからの課題は山積しておりますが、バランスのとれた予算編成がなされています。今後は、今まで以上に厳しい財政状況が予想されますが、それを踏まえ健全かつ着実な財政運営をお願いして、平成28年度一般会計予算及び5つの特別会計予算についての賛成討論とします。

○ 議長 他に賛成討論はありますか。

2番 藤井宏之君。

(2番 藤井宏之君 登壇)

○ 2番 町長から提出されました、平成28年度白川町一般会計予算並びに特別会計予算に対し、賛成の立場から討論いたします。

平成28年度の白川町の当初予算は、特別会計を含めた総体規模は9億840万円で、前年度対比3.9%の減となっております。28年度は白川町第5次総合計画の後期計画に向かって進み始める年であり、5つの基本目標はそのままとし、基本計画内における個別の施策の見直しと、新規に進める施策などを中心に策定した予算づくりであると捉えております。平成28年度事業や予算に対して、予算審査特別委員会を通して主な評価できる点、期待したい点等について申し上げたいと思います。少し長くなりますがよろしくお願ひいたします。

その前に、今回の予算審査特別委員会に町長が同席され、審議状況をご覧いただき、かつ意見を述べられたことについて双方にとって良かったものと思うと同時に、更に議論の必要性が残されていることも事実であることを申し伝えたいと思います。

5つの基本目標に沿って述べたいと思います。まず「基本目標1 人と人とのふれあいによる町づくりについて」一つ目に、中高年世代に同窓会を町内飲食店にて開催してもらうことを奨励するために、地域振興券を贈呈することは、ふるさとの繋がりが強くなることと同時に町内飲食店の活性化に繋がるため評価をいたします。

次に、各自治会公民館の3世代ふれあい交流事業に対し、開放報奨金と

して拡充されたことは、多世代のコミュニティ活動が広がるため、期待できるものであります。

次に、移住・定住交流推進事業について、27年度に移住・交流サポートセンターが本格的に稼働してきた効果や、田舎暮らし体験住宅が新たに追加されることと、移住者住宅支援事業補助金など、支援の枠が広がったことを評価します。

「基本目標2 緑の資源を活かした豊かな町づくり」一つ目、伝統料理加工体制づくりとして、鯉の甘煮づくりが商品化に向けているなど、地元しかない水産物を活用した特産品の開発などに補助金を拡充するなど、大いに期待するものです。

次に、農村活性化プロジェクト事業費として、茶畑の基盤整備と農家カフェが予定され、特に農家カフェについては具体的な計画書が出されていないために、相当議論に時間を費やしましたが、計画書を議会に提出してもらうことを条件に賛成としました。地域の活性化につながることを強く望みます。

次に、鳥獣被害防止総合対策整備事業補助金は、国費100%であり、大いに活用して被害防止に努めていただきたいと思います。

次に、美濃白川茶の販路拡大については、海外も視野に入れた展開に大いに期待するものですが、安心、安全なおいしいお茶づくりの生産を更に期待するものです。

次に、林業におきましては、間伐材全量搬出実証モデル支援事業補助金による効果で、東濃ひのき白川市場への出材量が増えており、更に28年は増額となっているため、更なる効果を期待し評価をします。

次に、商工業の振興では、新たに創業支援に向けた補助金を設け、事業所が増えることを期待してやみません。

次に観光の振興では、インバウンドに向けた外国版ホームページの立ち上げに大いに期待するものですが、受け入れ体制作りが課題になってくると思います。また、稚鮎の放流事業に対して補助金を出すことは新たな取り組みとして評価をいたします。

「基本目標3 住む人みんなにやさしい町づくり」保健医療の充実として、特定健診、がん検診事業など、各種の健康づくり事業による効果が実を結んできていることを評価し、今後も生活習慣病等の予防に努めていただきたいと思います。

次に、子育て環境については、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、27年度から未満児を除く保育料の無料化を行っており、28年度も

継続となっております。出産育児給付金についても、こうした子育て支援に対する経済的支援の取り組みは、本町の特色でもあり先進的であると評価し、今後も継続されていくことを望みます。

「基本目標4 安全・安心・便利な町づくり」1つ目、道路交通網の整備として、国道256や主要地方道の早期改良に向けての働きかけを今後も継続して行っていただくよう強く望みます。

次に、これからの大きな課題である交通弱者、買い物弱者への支援等を検討していく地域公共交通会議、法定協議会を28年度新しく立ち上げることに對して評価すると共に、利用者、住民の声を十分に聴きながら地域にあった新しい交通システムを築いていただきたいと特に期待をします。

次に、情報基盤の利活用の面で、公共施設、観光施設、駅等に無料の無線R U Nを整備されることは、観光客の利便性を図ると共に、外国人にも利用しやすい環境整備をつくるという点を評価します。

次に防災対策の充実として、28年度庁舎の整備、検討について、役場内に設計士や有識者を交えた研究チームを立ち上げ、たたき台を作り上げる第1歩を踏み出すわけですが、第5次総合計画後半の重要な施策でもあります防災拠点としての重要な施設である庁舎の整備について、町民に示せるようなたたき台をしっかりと作成していただくようお願いをいたします。

次に、生活環境の充実では、水源の里住宅支援として27年度は新築のみの支援であったが、28年度は中古住宅の取得に対する改修費用の支援、そして人口増に向けた新婚さんに限定した中古住宅への賃貸、改修支援について予算化されるなど、こうした新たな取り組みに対して高く評価いたします。

最後に「基本目標5 白川を愛し、たくましく心の温かい人を育む町づくり」未来を担う子ども達の育成の中で、中学生、高校生の調査からも出ているように、白川町に誇りを持ち、この町に住み続けたいと答えた人は8割以上います。そのような中で高校生への支援策として、高校へのスクールバスについては不公平感による理由などから27年度を持って廃止となりますが、28年度からはJ R定期券購入者に対して、増額した3万円を支援されることと、濃飛バス利用に対しても距離に関係なくワンコイン100円で乗れるようにしていただいたことは、保護者にとっても負担が減ると共に、住み慣れた家から高校へ通ってほしいとの願いが込められていることに對しての予算計上は、評価に値するものと思います。

次に、28年度に5地区に設置する学校運営協議会は、第5次総合計画後半の中で結論を出してもらえればとのことで、義務教育学校及び小中一

貫教育学校の設置も含め、小中学校の適正配置について統廃合も視野に入れた検討を行うとしております。各学校区ごとに、地区の代表者による学校運営協議会を立ち上げ、十分な議論を期待するものです。

次にスポーツ面では、従来の体育協会、スポーツ少年団、チャオ白川スポーツクラブの各団体が一つになり、白川スポーツクラブとして28年度内の設立を目指して準備を進められます。横との繋がり、連携を含めてスポーツを通して町づくり、人材育成に向けて進めていただくことは、生涯学習、スポーツの充実からみても大いに評価できます。

最後に、28年度は白川町合併60周年に向けた文化事業が多く開催されます。伝統芸能、伝統文化を保存し、伝承していくためにも事業を展開することは重要な意味を持つものと評価します。町民にとって実りある60周年記念になることを祈念して賛成討論とします。

- 議長 討論を終わります。採決します。
議第1号「平成28年度白川町一般会計予算」に対する委員長の報告は可決であります。本件を委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。
(起立全員)
- 議長 起立全員であります。よって、議第1号「平成28年度白川町一般会計予算」は、委員長報告のとおり可決しました。
- 議長 議第2号「平成28年度白川町国民健康保険特別会計予算」に対する委員長の報告は可決であります。本件を委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。
(起立全員)
- 議長 起立全員であります。よって、議第2号「平成28年度白川町国民健康保険特別会計予算」は、委員長報告のとおり可決しました。
- 議長 議第3号「平成28年度白川町簡易水道特別会計予算」に対する委員長の報告は可決であります。本件を委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。
(起立全員)
- 議長 起立全員であります。よって、議第3号「平成28年度白川町簡易水道特別会計予算」は、委員長の報告のとおり可決しました。
- 議長 議第4号「平成28年度白川町地域振興券交付事業特別会計予算」に対する委員長の報告は可決であります。本件を委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。
(起立全員)

- 議 長 起立全員であります。よって、議第4号「平成28年度白川町地域振興券交付事業特別会計予算」は、委員長報告のとおり可決しました。
- 議 長 議第5号「平成28年度白川町介護保険特別会計予算」に対する委員長の報告は可決であります。本件を委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。
(起立全員)
- 議 長 起立全員であります。よって、議第5号「平成28年度白川町介護保険特別会計予算」は、委員長報告のとおり可決しました。
- 議 長 議第6号「平成28年度白川町後期高齢者医療特別会計予算」に対する委員長の報告は可決であります。本件を委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。
(起立全員)
- 議 長 起立全員であります。よって、議第6号「平成28年度白川町後期高齢者医療特別会計予算」は、委員長報告のとおり可決しました。
◇日程第3 同第1号 監査委員の選任につき同意を求めることについて
- 議 長 日程第3 同第1号「監査委員の選任につき同意を求めることについて」を議題とします。
渡邊昌俊君の除斥を求めます。
- 議 長 説明を求めます。町長。
(町長 横家敏昭君 登壇)
- 町 長 同第1号「監査委員の選任につき同意を求めることについて」、議案及び提案説明を朗読し、説明した。
- 議 長 説明が終わりました。本件は、人事案件でありますので、質疑、討論を省略し、ただちに採決したいと思います。
これにご異議ありませんか。
(「異議なし」の声あり)
- 議 長 ご異議なしと認めます。よって、質疑、討論を省略し、ただちに採決します。
同第1号「監査委員の選任につき同意を求めることについて」について、同意することに賛成の諸君の起立を求めます。
(起立全員)
- 議 長 起立全員であります。よって、同第1号「監査委員の選任につき同意を求めることについて」は、同意することに決定しました。
渡邊昌俊君の出席を求めます。
◇日程第4 発議第1号 TPPと地方創生への万全な国内対策を求める

意見書について

- 議 長 日程第4 発議第1号「TPPと地方創生への万全な国内対策を求める意見書について」を議題とします。
説明を求めます。藤井宏之君。
(2番 藤井宏之君 登壇)
- 2 番 発議第1号 TPPと地方創生への万全な国内対策を求める意見書について、議案及び提案説明を朗読し、説明した。
- 議 長 説明が終わりました。質疑を許します。
(「なし」の声あり)
- 議 長 質疑を終わります。討論を行います。
(「賛成」の声あり)
- 議 長 討論を終わります。採決します。
発議第1号を原案のとおり承認することにご異議ありませんか。
(「異議なし」の声あり)
- 議 長 ご異議なしと認めます。よって、発議第1号「TPPと地方創生への万全な国内対策を求める意見書について」は、原案のとおり承認しました。
◇日程第5 発議第2号 監査請求に関する決議について
- 議 長 日程第4 発議第2号「監査請求に関する決議について」を議題とします。
説明を求めます。細江茂樹君。
(7番 細江茂樹君 登壇)
- 7 番 発議第2号 監査請求に関する決議について、議案及び提案説明を朗読し、説明した。
- 議 長 説明が終わりました。質疑を許します。
(「なし」の声あり)
- 議 長 質疑を終わります。討論を行います。
(「賛成」の声あり)
- 議 長 討論を終わります。採決します。
発議第2号を原案のとおり承認することにご異議ありませんか。
(「異議なし」の声あり)
- 議 長 ご異議なしと認めます。よって、発議第2号「監査請求に関する決議について」は、原案のとおり承認しました。
◇日程第6 閉会中における議会運営委員会の継続調査について
- 議 長 日程第6「閉会中における議会運営委員会の継続調査について」を議題とします。
議会運営委員会から所管事務のうち、白川町議会会議規則第75条の規定

によって、お手元に配布しました申し出書のとおり、閉会中における継続調査の申し出があります。

- 議 長 お諮りします。
委員長から申し出のとおり、閉会中における継続調査とすることにご異議ございませんか。
(「異議なし」の声あり)
- 議 長 ご異議なしと認めます。
よって、委員長から申し出のとおり、閉会中における継続調査とすることに決しました。
- 議 長 以上をもって、本定例会に付議された案件は全て議了しました。
- 議 長 お諮りします。
今期定例会は、本日をもって閉会したいと思います。これにご異議ございませんか。
(「異議なし」の声あり)
- 議 長 ご異議なしと認めます。よって本定例会は本日をもって閉会とします。
ここで、町長から発言の許可を求められていますので、これを許します。
(町長 横家敏昭君 登壇)
- 町 長 長期間にわたって大変ご苦労様でございました。
昭和30年から40年代の白川町、今から60年前の白川町合併時には茅葺屋根だとか千枚板と呼ばれる板葺の屋根の木造家屋が沢山ございました。そして、舗装されていない細い道、圃場整備が行われる前の何枚もの小さな田畑に囲まれて、細々と自給的な営みをおくってきました。養蚕や薪炭が主な生業で、病院まで遠くなかなか医者にもかかれない健康に対する備えも不十分、そして死者を弔うのは土葬でありました。都市と比べて過酷な農山村の現況でございました。それゆえに、過疎地域に対して都市との地域間格差を埋めるべく、道路やトンネル、架橋など、地域間移動に対するハード面の整備が進み、更に水道、下水などこの50年あまりの間、当時の面影を感じ取れないくらいに改善が図られてまいりました。しかし、それでも過疎化の波は止めがたく、今、対策の焦点は集落対策やコミュニティ支援というソフト面に移りつつあります。人口減少を通じて白川町においても様々な地域課題が発生をしております。学校問題、公共交通、耕作放棄地、荒廃山林、鳥獣害、福祉医療など様々でございます。高齢化人口減少は少し時をおいて都市部でも同様な流れがくると想像されます。ただ、都市部と異なる点は、地域資源という点だと思います。それは水であったり、山林であったり、農地であったりでしょうか。大自然そのものです。田舎に住む者が都市と同じ価

値感覚では生活できません。そこで私たちは、この資源と暮らしと仕事と地域を結んだものに活路があるのではないかと考えます。それが今回地方創生のキーポイントではないかと考えます。合併60周年を機に、全町民一丸となった町づくりをお願いし、議会閉会のあいさつとさせていただきます。本当にありがとうございました。ご苦労様でした。

- 議長　これをもって、平成28年白川町議会第1回定例会を閉会いたします。どうもご苦労さまでした。

(午後3時42分　了)

上記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

議 員

議 員